

熊本県中北部における「ト」の接続について 一文末疑問用法における品詞別接続許容度と世代差を中心に

小川 晋 史

1. はじめに

九州方言に見られる準体助詞「ト」は九州の北東部を除く広い地域に分布しており（彦坂 2005）、「九州方言のなかでもとてもよく使われる、九州方言らしいことばです。」（九州方言研究会 2009: 126）と言われるほどに日常的に使用される。九州方言研究会（2009）で挙げられている例を以下に示す。なお、下線は筆者によるもので、平仮名表記の「と」を片仮名表記の「ト」に改めた。

- (1) a. どこ行くト? （どこに行くの?）
b. 買い物に行くト。（買い物に行くの。）

「ト」の中でも、(1) で挙げたような文末で終助詞的に使用される「ト」について言うと、もともとは主に用言に接続（後接）していたものが、非用言にも接続するようになってきていることが報告されている（野林 1963, 植田 1992, 陣内 1996）。非用言にも接続するというのを陣内（1996）にならって「新用法」と呼ぶことにするが、この新用法については福岡（市）の方言を対象とした報告が陣内（1996）以降もなされている（原田 2007, 下地 2015）。

その一方で、同じ九州でも熊本における新用法およびその広がりについて報告したものは管見の限り存在しないようである。そこで本稿では、熊本県中北部（熊本市と隣接する合志市）における新用法についての調査結果を報告したい。

2. 調査概要

調査は 2015 年に実施した。「ト」が接続することに違和感があるかどうか（許容度）を品詞別に調べることを目的とした調査である。「ト」の用法については、文末で疑問を表す（1a）のような用法に限定して調べた。具体的

な調査方法としては付録1に示したようなアンケートに答えてもらう方式を採用した。付録1で示されているのは、動詞が「-ト」に接続できるかについての質問の例であるが、アンケートの中で調査したのは品詞で言うと動詞（帰る、など）、形容詞（面白い（面白か）、など）、形容動詞（静か、など）、連体詞（そんな（そげん、そげな）、など）、名詞（勉強、など）、副詞（こう（こげん）、など）、代名詞（彼、など）、副詞+代名詞（もっと北、など）、固有名詞（高倉健、など）、の9種類である¹。このうち、副詞+代名詞と固有名詞については、それぞれが副詞および（固有名詞以外の）名詞とは異なる傾向があった²ので独立した区分を設けて報告しておきたい。以下には名詞と副詞についての質問例も示しておく。

【文脈：仕事と恋人の選択で、仕事を選んだ友人に対して】

}	なんで	}	仕事と？	良	4	—	3	—	2	—	悪	1
	なし			1								

【文脈：恋人がいつまでも煮え切らない態度を取るので、理由を聞いて】

}	なんで	}	と？	良	4	—	3	—	2	—	悪	1
	なし			1								

本稿では若年層と中年層のデータを示すが、本稿が若年層と呼ぶのは20代を中心とした10 - 30代の13名（10代2名、20代10名、30代1名）であり、中年層と呼ぶのは40 - 50代の6名（40代3名、50代3名）である。話者の出身地域については、結果に大きな違いがなかったので熊本市出身の話者と熊

1 アンケートに使用した具体的な語については付録2を参照されたい。また、ここで形容動詞としているものについて、話者によっては「下手か」（へたか）のように方言で形容詞として活用する可能性がある語が含まれている。

2 本稿では詳しく扱わないが、どういう語に「-ト」が後接しやすいかという議論に関わる違いではないかと推測される。述語として用いられやすいかどうかといったことが関係しているかもしれない。

本市に隣接する合志市出身の話者のデータを合わせて示す。

3. 調査結果と分析

品詞ごとの許容度の違いについて、許容度の平均値を示す。

熊本市・合志市地域 若年層

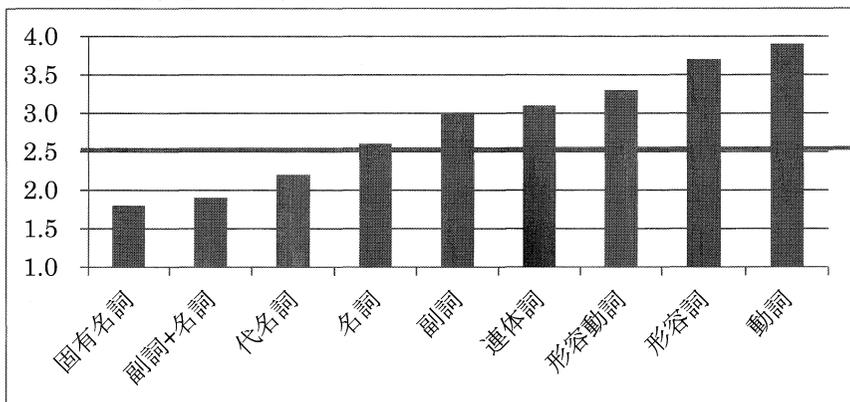
10代－30代（14人）	許容度平均
固有名詞	1.8
副詞＋名詞	1.9
代名詞	2.2
名詞	2.6
副詞	3.0
連体詞	3.1
形容動詞	3.3
形容詞	3.7
動詞	3.9

中年層

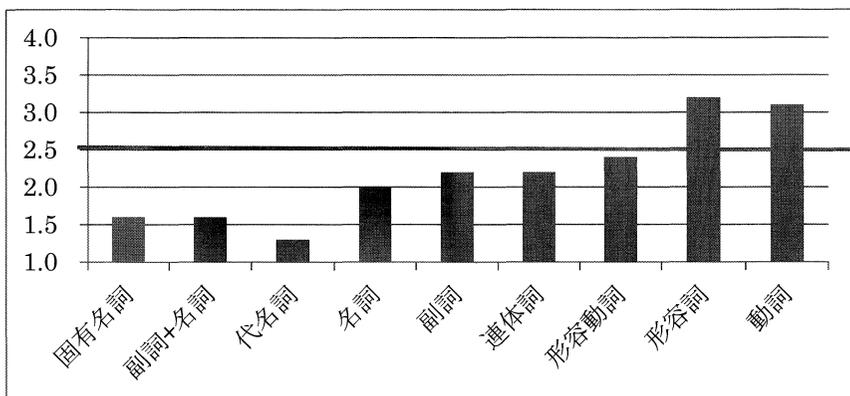
40代－50代（6人）	許容度平均
固有名詞	1.6
副詞＋名詞	1.6
代名詞	1.3
名詞	2.0
副詞	2.2
連体詞	2.2
形容動詞	2.4
形容詞	3.2
動詞	3.1

上の表で示した数値を棒グラフで示す。チャンスレベルの値は2.5である。

熊本市・合志市地域 若年層



中年層



上記で示した若年層と中年層のデータを見比べてみると、大きく3つのことに気づく。(i) 全体にどの品詞についても若年層のほうが許容度が高く、熊本市・合志市でも「-ト」の使用範囲が広がっていることが確認できた。また、(ii) 中年層では動詞と形容詞のみがチャンスレベルを超えた値を示しており、主に用言に接続するという「-ト」の古い特徴を残していることがわかる。そして、(iii) 許容される順番自体は、若年層と中年層で大きく変わらず、いわゆる用言が上位であって体言が下位。その中間に、副詞や連体詞が位置するという順番である。これは、若年層が「-ト」をより幅広い語（品詞）に接続させるようになってきているといっても、それなりのルールがあり、やたらと

何にでも接続させているわけではないことを示していると解釈できる。

4. おわりに

本稿においては、「-ト」の文末疑問用法に焦点を当て、熊本市および合志市の話者がどのような語（品詞）に「-ト」を接続させることを許すかについて調べた結果を報告した。若年層では使用の範囲が広がっており、もはや中年層における使用のように「用言を中心に接続する」とは言いにくい状況である。一方で、若年層・中年層ともに「用言>連体詞・副詞>体言」という順番で接続を許容しており、一定のルールにしたがって「-ト」の接続のしやすさが決まっていることがうかがわれる結果であった。この品詞の順番および結果の詳しい分析・解釈については今後の課題としたい。

参考文献

- 九州方言研究会（2009）『これが九州方言の底力！』大修館書店。
下地理則（2015）「福岡方言の『ト』の用法変化：言語運用の観点から」AA 研共同利用・共同研究課題「複雑系としての言語：運用に基づく文法理論の可能性」2014 年度第 3 回研究会（通算第 5 回目）2015 年 3 月 19 日 配布資料。
陣内正敬（1996）『北部九州における方言新語研究』九州大学出版会。
檜田良照（1992）「福岡市及び周辺地域の方言の新しい現象について」『佐賀大國文』20, pp.48-56。
野林正路（1963）「北九州方言における吸着語—「ト」の記述的研究を中心として—」『東筑紫短期大学学報』10（井上史雄ほか編 1999『日本列島方言叢書 24 九州方言考②（福岡県・佐賀県）』ゆまに書房 pp.468-451 に収録）
原田走一郎（2007）「若年層の福岡方言における「-ト」の接続について」『思言』2, pp.169-176。
彦坂佳宣（2005）「準体助詞の用法からみた方言地域差」『日本方言研究会第 80 回研究発表会発表原稿集』 pp.17-24。

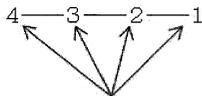
謝辞

調査に協力してくださった話者の方々と熊本県立大学の学生諸君に感謝する。また、調査の過程で有益なコメントを下された下地理則氏に感謝申し上げる。本稿における間違いはすべて筆者によるものである。

付録1 アンケートの説明

このアンケートは九州の方言における疑問の「…と？」を使った文についての調査です。
このページでは、次ページから始まるアンケートの説明をします。

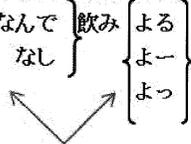
文脈付きで例文が並んでいますので、ご自身の直感として良い文か悪い文かを4段階で判断して数字に丸を付けてください。4が最も良くて、1が最も悪いという判断です。

例	<p>【文脈：友人が旅行に行くのが明日なのか知りたくて】 良 悪</p> <p style="text-align: center;">明日 行くと？</p> <div style="text-align: right; margin-right: 50px;"> 4 — 3 — 2 — 1 </div>  <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">自身の判断でどれかに丸をつけて下さい</p>
----------	---

なお、数字による判断の指標として以下を参考にしてください。

- 4：「自分でもそう言うし、人がそう言っても違和感がない」
- 3：「自分では言わないが、人がそう言うのを聞いたことがあり、違和感はない」
- 2：「自分では言わないが、人がそう言うのを聞いたことがあり、かつ違和感がある」
- 1：「自分では言わないし、人がそう言うのを聞いたこともない」

また、本アンケートが対象とする「…と？」以外の部分で、九州の方言でも地域によって少しずつ表現が異なる場合があります。そのような場合は代表的な表現を【 】で並べて示していますので、もっとも馴染みがある表現を頭の中で選んで「…と？」の文の良さしを判断してください。

例	<p>【文脈：昼から酒を飲んでいる人に理由を聞く】 良 悪</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="margin-right: 20px;"> <p>{</p> <p>なんで</p> <p>なし</p> <p>}</p> </div> <div style="margin-right: 20px;"> <p>飲み</p> <p>}</p> </div> <div style="margin-right: 20px;"> <p>{</p> <p>よる</p> <p>よー</p> <p>よっ</p> <p>}</p> </div> <div> <p>と？</p> </div> </div> <div style="text-align: right; margin-right: 50px; margin-top: 10px;"> 4 — 3 — 2 — 1 </div>  <p>「なんで飲みよると」「なんで飲みよーと？」「なんで飲みよっと？」「なし飲みよると？」「なし飲みよーと？」「なし飲みよっと？」のうちで、</p> <p>自身にもっとも馴染みのある表現をもとに「…と？」の文を判断してください。</p>
----------	---

付録2 単語別の許容度一覧

語	品詞	若年層許容度	中年層許容度
食べる	動詞	3.7	2.8
帰る	動詞	4.0	3.2
おる(居る)	動詞	3.9	3.2
欲しい	形容詞	3.8	3.0
いい(よか)	形容詞	3.9	2.8
面白い(面白か)	形容詞	3.3	3.2
さびしい(さびしか)	形容詞	3.8	3.7
ない(なか)	形容詞	3.8	3.2
好きだ	形容動詞	3.8	2.5
だめだ	形容動詞	3.7	2.8
いやだ	形容動詞	3.6	3.2
暇だ	形容動詞	3.3	2.5
便利だ	形容動詞	3.2	2.7
大変だ	形容動詞	3.4	3.0
上手だ	形容動詞	3.2	2.3
有名だ	形容動詞	3.0	2.0
下手だ	形容動詞	3.2	1.8
大丈夫だ	形容動詞	3.8	3.0
不満だ	形容動詞	3.3	2.5
健康だ	形容動詞	2.3	1.0
静かだ	形容動詞	3.0	1.7
ハンサムだ	形容動詞	3.2	2.5
美人だ	形容動詞	3.2	2.2
休み	名詞	3.6	3.3
反則	名詞	3.2	2.3
禁止	名詞	2.8	2.2
緑	名詞	2.8	2.8
病気	名詞	3.5	3.2
買い物	名詞	2.3	1.2
仕事	名詞	2.8	1.8

雨	名詞	3.1	2.2
ただ〈無料の意〉	名詞	2.8	2.3
先生	名詞	2.8	1.7
一人	名詞	3.2	2.3
本	名詞	2.4	1.2
オープン	名詞	1.9	1.0
勉強	名詞	2.2	1.7
テニス	名詞	3.0	2.0
右・左	名詞	1.8	1.7
北	名詞	1.4	1.7
上	名詞	2.8	2.5
10年	名詞	1.8	1.8
こう(こげん)	副詞	3.0	2.3
そう(そげん)	副詞	2.8	2.3
いっぱい〈満員の意〉	副詞	3.2	2.0
こんな(こげな、こげん、こげんか)	連体詞	3.1	1.8
そんな(そげん、そげな)	連体詞	3.1	2.5
これ	代名詞	2.5	1.8
彼	代名詞	2.2	1.2
彼女	代名詞	1.8	1.3
あなた(あんた)	代名詞	2.2	1.0
太郎	固有名詞	2.5	1.8
オバマ大統領	固有名詞	1.7	1.8
高倉健	固有名詞	1.7	1.8
マイケルジャクソン	固有名詞	1.8	1.7
くまモン	固有名詞	1.5	1.2
ソウル	固有名詞	1.8	1.3
アムステルダム	固有名詞	1.3	1.7
もっと右	副詞+名詞	1.9	1.8
もっと北	副詞+名詞	1.6	1.5
かなり上	副詞+名詞	2.4	1.7
ほぼ10年	副詞+名詞	1.5	1.5